



事業実績報告書

様式 2
(2020年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-57	講座名	防災・減災 寺子屋 ～コロナ禍の災害ボランティア入門～
記載日	2021/4/21	団体名・企業名	災害ボランティアちくさネットワーク
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>今までの防災とは異なり、新型コロナウイルス禍の災害ボランティア活動は、大きく変わってきます。コロナ禍でどんな活動ができるか、新たに注意すべきことは何か、考えていきましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コロナ禍での、新たな災害の基礎と災害ボランティアについて 2. コロナ禍での、新しい避難所運営について 3. コロナ禍での女性目線での、防災・減災講座 4. コロナ禍における、災害ボランティアセンターについて 			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
1/9 千種区乗西寺 女性目線の、コロナ禍の防災減災について。		11/14 千種区乗西寺 コロナ禍の避難所運営について、勘所を伺いました。	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>毎年、防災減災について企画しているが、今回は「コロナ禍での」災害と避難所、女性目線、災害ボランティアセンターの運営など、今後の強毒性感染症対策も含めた防災講座になった。</p> <p>特に、避難所の新しいルール（レッドゾーン、イエローゾーン、ブルーゾーン）や避難時の持ち物（マスク、手指消毒液など）など、今までとは大きく異なる体制等を準備する必要があると感じられた。引き続き、コロナ禍の災害について、勉強していきたい。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)			
<p>(女性目線の防災減災)</p> <p>男性の参加や理解が必要と感じられました。</p> <p>男性の方が、関心を持って聞いておられて、良かったと思いました。</p> <p>(コロナ禍の災害ボランティアセンターについて)</p> <p>講師の方は相当の実践を踏んでおり、具体的で分かり易い内容だった。</p> <p>ワークまでやりたかった。</p> <p>もう少し、コロナ禍の災害ボランティアセンターについて話が聞きたかった。</p>			

●団体紹介

団体所在地	〒464-0067 愛知県名古屋市千種区池下1-11-19-403		
連絡担当者	浅野	ウェブサイト	https://saiborachikusa.wordpress.com/
TEL	090-8548-0164	FAX	
E-mail	tamaki.asano@gmail.com	携帯電話	090-8548-0164
〈団体・企業の簡単な紹介・PR〉(150文字程度)			
名古屋市市民活動推進センター様主催の「災害ボランティアコーディネーター養成講座」を修了した者が中心の、災害ボランティア団体です。平時は防災啓発活動など、災害発生時には、区役所が設置した「災害ボランティアセンター」を社会福祉協議会様と協働して、設置運営するボランティアです。			

●講座開催情報

第一回	講座名	コロナ禍での、新たな災害の基礎と災害ボランティアについて	開催日	10月24日	土
	講師名	浅野環	参加人数	9	名
	内容	今までとは異なる、コロナ禍で考えられる災害について学びます。			
第二回	講座名	コロナ禍での、新しい避難所運営について	開催日	11月14日	土
	講師名	高松三千男	参加人数	8	名
	内容	コロナ禍における災害の際に避難所に逃げるときになにを用意しておけばいいのか、学べます。また、避難先の避難所の運営について、基礎が学べます。			
第三回	講座名	コロナ禍での女性目線での、防災・減災講座	開催日	1月9日	土
	講師名	瀬治山みど里、浅野環	参加人数	9	名
	内容	被災地では、とかく男性が運営主体となり、女性が災害弱者となっています。コロナ禍における、女性目線に立った、防災・減災について、参加者とご一緒に楽しく考えてみましょう。			
第四回	講座名	コロナ禍における、災害ボランティアセンターについて	開催日	2月13日	土
	講師名	浅野環	参加人数	15	名
	内容	密を避けるため、新たな災害ボランティアセンターの運営の仕方が求められています。いっしょに考えていきましょう。			
第五回	講座名		開催日		
	講師名		参加人数		名
	内容				